

国宝のお城

参考：Wikipedia

国宝のお城は、日本に 5 つあります。これらは「国宝五城」と呼ばれ、姫路城、松本城、犬山城、彦根城、松江城です。

国宝五城

- **姫路城**（兵庫県）：白鷲城とも呼ばれ、美しい白壁と連立式天守が特徴です。[姫路市](#)
- **松本城**（長野県）：黒と白のコントラストが美しい、現存する日本最古の五重六階の天守を持つ城です。[刀剣ワールド 城](#)
- **犬山城**（愛知県）：現存する天守の中で最も古い様式を誇り、木曾川のほとりに位置します。[国宝犬山城](#)
- **彦根城**（滋賀県）：複数の破風を持つ特徴的な天守と、美しい石垣が魅力です。[攻城図](#)
- **松江城**（島根県）：2015 年に国宝に指定された、唯一の正統天守とも呼ばれる城です。www.matsue-castle.jp

これらの城は、いずれも江戸時代以前に建てられた**現存天守**であり、その歴史的価値や建築美から国宝に指定されています。

現存する天守を持つお城とは

現存する天守を持つお城とは、江戸時代以前に建てられた天守が、そのままの形で現在まで残っているお城のことです。これらの城は、長い歴史の中で改築や修復をされながらも、創建当時の姿を今に伝えています。全国に 12 城しか現存しないため、「現存 12 天守」と呼ばれています。

現存 12 天守

- ・弘前城（青森県）・[松本城](#)（長野県）・丸岡城（福井県）・[犬山城](#)（愛知県）
- ・[彦根城](#)（滋賀県）・[姫路城](#)（兵庫県）・[松江城](#)（島根県）・備中松山城（岡山県）
- ・丸亀城（香川県）・松山城（愛媛県）・宇和島城（愛媛県）・高知城（高知県）

これらの城は、国宝や重要文化財に指定されているものも多く、その歴史的・文化的な価値は非常に高いとされています。

現存天守と復元天守の違い

現存天守は、歴史的な建造物としてそのまま残っているのに対し、復元天守は、資料に基づいて元の姿を再現したものです。また、模擬天守は、天守の形を模して建てられたもので、歴史的な価値は異なります。

天守とは

天守とは、城の中心に建てられた最も高い櫓のことです。物見櫓として周囲を見張るだけでなく、城の象徴として権威を示す役割も担っていました。戦国時代には防御施設として、江戸時代には権力の象徴として機能しました。